



開口方法

Apple Watch Series 6を修理するために開口する方法です。

作成者: Dominik Schnabelrauch



はじめに

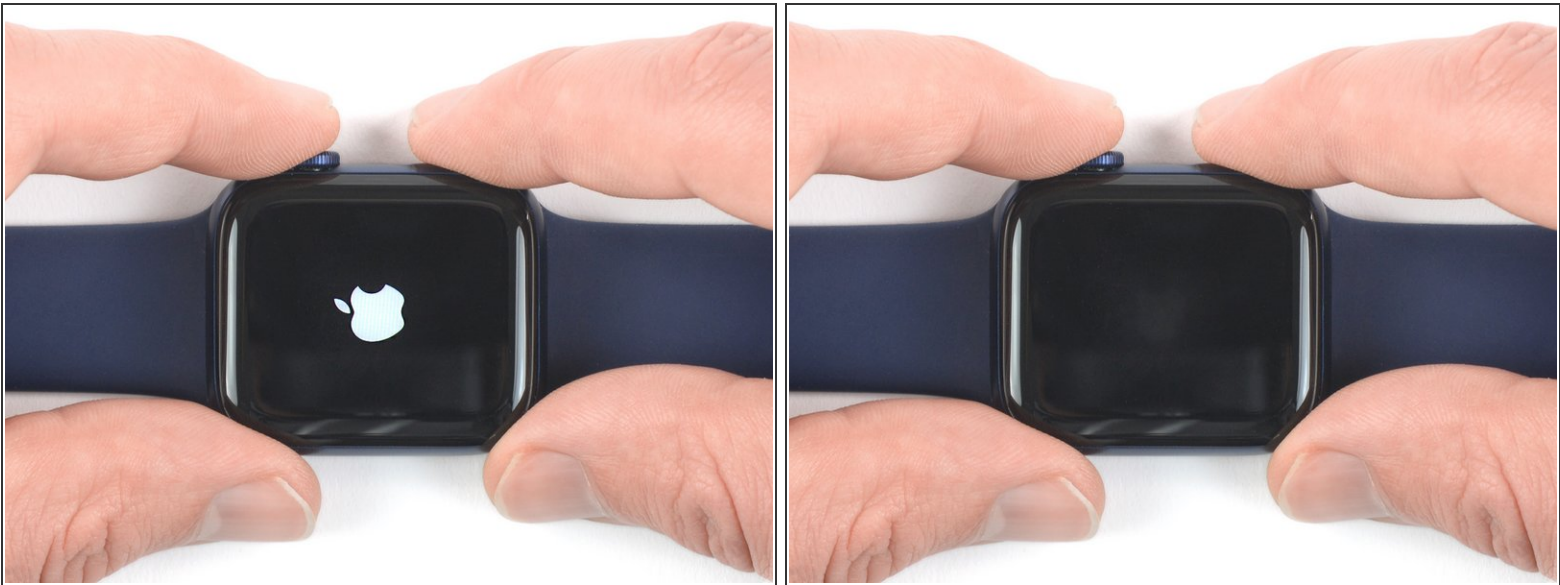
このガイドを参照して、Apple Watch Series 6を開口します。

デバイスを再組み立てする際に、コンポーネントを再装着するために、「交換用の接着剤」を準備してください。

ツール:

- [iOpener](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [Curved Razor Blade](#) (1)
- [保護メガネ](#) (1)
- [ESD Gloves](#) (1)

手順 1 — Watchの電源を切ります



- 作業を始める前に、Watchの電源を切ってください。
- ⓘ タッチスクリーンが壊れていて、Watchの電源を切れない場合は、[こちらの代替方法](#)で電源を切ってください。

手順 2 — 安全ガイド



- スクリーンとWatch本体の間は非常に薄いため、鋭利なブレードが両側を乖離するために必要です。作業に進む前に、次の警告内容をよく読んでください。

⚠ ナイフから完全に手を保護してください。自信がない場合は、レザー製もしくはガーデニング用の防護用グローブを装着してください。

⚠ ナイフがスリップして怪我をしたり、Watchにダメージが入ってしまう可能性があるため、ブレードを使用する際は力を入れすぎないでください。

⚠ **保護用メガネ**を装着してください。ナイフもしくはガラスが壊れた場合、飛散することがあります。

- ① Watchバンドを必要に応じて装着するか、外してください。修理の際に、コントロールを取りやすい方法を取ってください。

手順 3 — ディスプレイ接着剤を温める



- [iOpenerを準備して](#)(もしくはヘアドライヤーやヒートガン)、Watch表面を温めて、ディスプレイの接着剤を柔らかくします。
 - iOpenerをWatchの表面に少なくとも2分間当てて、スクリーンを温めます。
- ① ディスプレイの接着剤が柔らかくなるまで、iOpenerを複数回に渡って温めて、Watchに載せる作業を繰り返す必要があります。

手順 4 — ディスプレイの開口



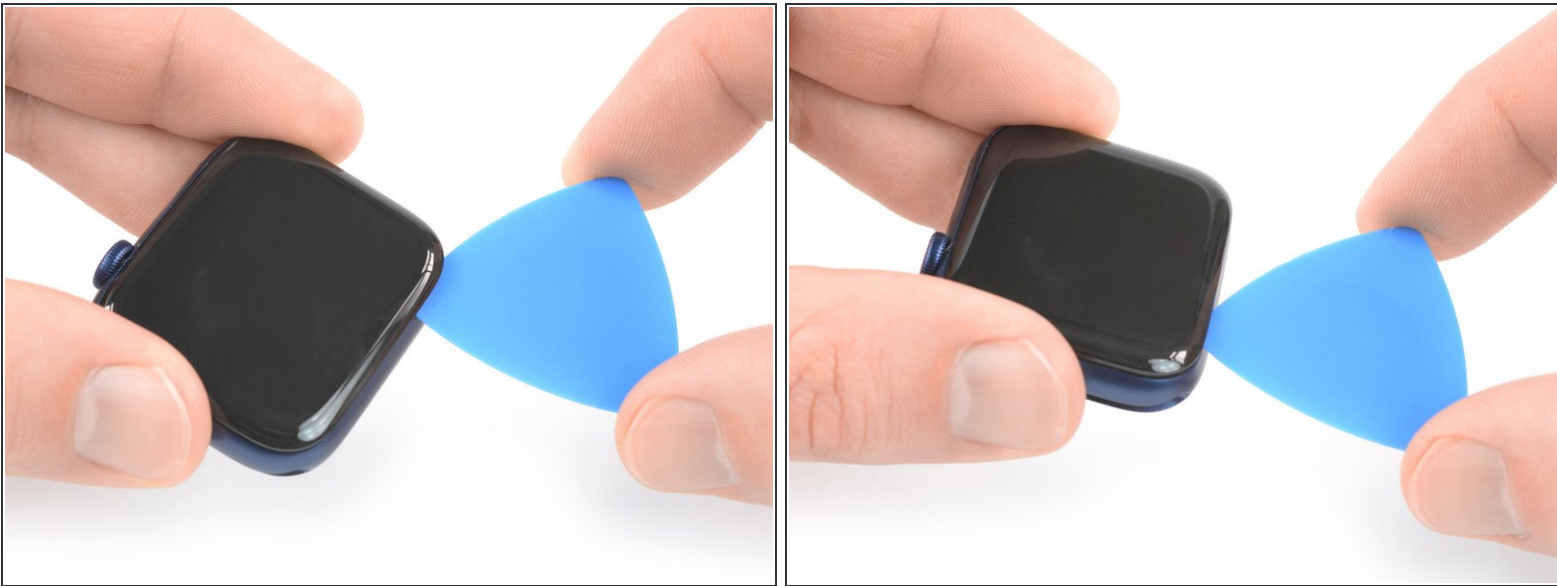
- ディスプレイと外側ケースの間の薄い隙間に湾曲したブレードの先端を差し込みます。デジタルクラウン付近のディスプレイの短辺側から始めます。
- 隙間にしっかりと押し込みます。
- ブレードの先端を差し込めたら、ブレードを傾けてディスプレイをわずかに開口します。

手順 5



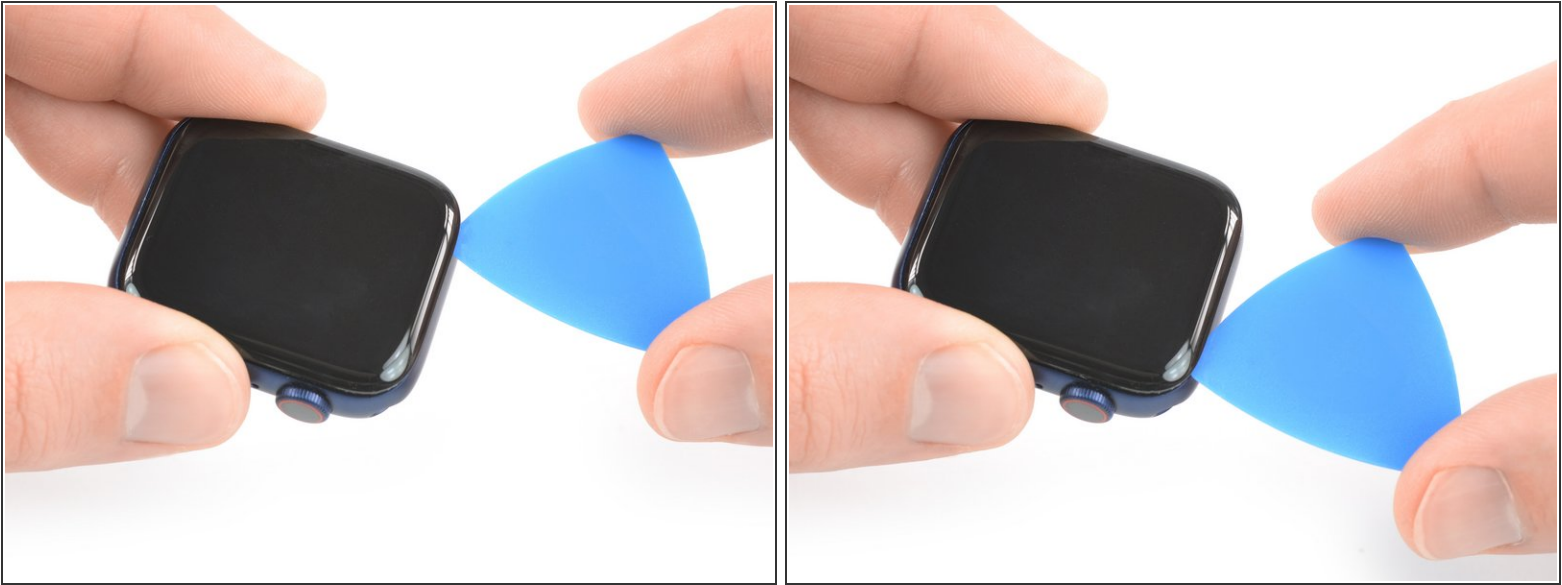
- 隙間に開口ピックを差し込みます。
- 開口ピックをWatchの短辺側に沿ってスライドして、接着剤を切開します。

手順 6



- 開口ピックをデジタルクラウンの反対側の長辺側に沿ってスライドし、コーナー周辺に回して、ディスプレイの接着剤を切開します。

手順 7



- 開口ピックをDigital Crown側の短辺に沿ってスライドし、残りの接着剤を切開します。

手順 8



- 開口ピックを使って残りの接着剤を全て切開して、デバイスを平らな作業台の上に載せます。
- ⚠ デジタルクラウン付近をスライスしないでください。ディスプレイケーブルにダメージを与えてしまいます。クラウン付近をスライドしなければならない時は、2mm以上深くピックを差し込まないでください。
- 開口ピックをデジタルクラウンの反対側のディスプレイに差し込みます。
- 開口ピックを捻って、ディスプレイをWatchのケースから緩めます。
- ⚠ ディスプレイを外さないでください。Watchのアセンブリと繋がっている状態です。

手順 9



⚠ ディスプレイを開く際に、ケーブルを引っ張らないようにご注意ください。

- ディスプレイを持ち上げて、デジタルクラウン側にゆっくりと引き上げます。
- ディスプレイを上部に開きます。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

少量の高濃度(90%以上)のイソプロピルアルコールを綿棒の先端もしくはクリーニングパッドを使って、Force Touchガスケットの上部を綺麗に接着剤の残りを拭き取ってください。それから新しい接着剤を装着します。

修理が上手く進みませんか？このモデルのトラブルシューティングは、[アンサーコミュニティ](#)を参照してください。